

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を実施せず、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、当連結会計年度に係る年間の減価償却費の額を期間按分する方法により算出しております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」(平成19年内閣府令第64号)に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、当第3四半期連結累計期間(平成20年4月21日から平成21年1月20日まで)は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(内閣府令第50号 平成20年8月7日)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を早期に適用しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、主として、総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益の低下に基づく簿価切下げ法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ44百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、該当箇所に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年1月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,130,809	2,648,211
受取手形及び売掛金	1,698,435	2,174,340
有価証券	474,556	—
商品及び製品	854,803	785,748
仕掛品	56,132	73,128
原材料及び貯蔵品	299,182	235,492
繰延税金資産	44,182	93,847
その他	163,462	32,680
貸倒引当金	△4,681	△6,107
流動資産合計	5,716,883	6,037,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,029,269	1,078,842
土地	1,850,780	1,850,780
その他(純額)	138,997	111,541
有形固定資産合計	3,019,048	3,041,165
無形固定資産		
ソフトウェア	7,810	9,124
ソフトウェア仮勘定	17,850	—
その他	4,555	4,555
無形固定資産合計	30,215	13,679
投資その他の資産		
投資有価証券	320,188	276,344
繰延税金資産	331,488	335,273
その他	181,906	189,134
貸倒引当金	△4,086	△2,953
投資その他の資産合計	829,496	797,799
固定資産合計	3,878,759	3,852,643
資産合計	9,595,643	9,889,985

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年1月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,579,195	1,743,002
短期借入金	239,344	104,329
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	125,426	97,374
未払法人税等	52	175,391
賞与引当金	39,905	158,317
その他	122,224	153,082
流動負債合計	2,126,148	2,451,496
固定負債		
社債	70,000	90,000
繰延税金負債	148,386	173,356
退職給付引当金	253,306	250,699
役員退職慰労引当金	302,938	303,401
その他	235,285	233,392
固定負債合計	1,009,917	1,050,849
負債合計	3,136,066	3,502,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	787,299	787,299
資本剰余金	676,811	676,811
利益剰余金	4,807,666	4,708,301
自己株式	△40,082	△40,082
株主資本合計	6,231,694	6,132,329
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,785	37,935
評価・換算差額等合計	8,785	37,935
少数株主持分	219,097	217,374
純資産合計	6,459,577	6,387,639
負債純資産合計	9,595,643	9,889,985

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月21日 至平成21年1月20日)
売上高	4,954,638
売上原価	3,086,545
売上総利益	1,868,093
販売費及び一般管理費	1,598,166
営業利益	269,926
営業外収益	
受取利息	11,168
有価証券利息	6,422
受取配当金	3,455
不動産賃貸料	35,941
その他	10,801
営業外収益合計	67,787
営業外費用	
支払利息	4,721
社債利息	503
不動産賃貸費用	16,601
その他	2,799
営業外費用合計	24,626
経常利益	313,087
特別利益	
投資有価証券売却益	335
貸倒引当金戻入額	1,539
受取保険金	7,024
特別利益合計	8,899
特別損失	
固定資産除却損	68
投資有価証券売却損	19
投資有価証券評価損	6,670
貸倒引当金繰入額	1,000
特別損失合計	7,758
税金等調整前四半期純利益	314,228
法人税、住民税及び事業税	89,279
法人税等調整額	48,321
法人税等合計	137,600
少数株主利益	3,122
四半期純利益	173,505

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月21日
至平成21年1月20日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	314,228
減価償却費	88,647
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,606
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△462
賞与引当金の増減額(△は減少)	△118,412
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△160
受取利息及び受取配当金	△21,045
支払利息	5,225
投資有価証券評価損益(△は益)	6,670
投資有価証券売却損益(△は益)	△315
売上債権の増減額(△は増加)	465,060
たな卸資産の増減額(△は増加)	△115,748
仕入債務の増減額(△は減少)	△176,364
その他	△114,331
小計	335,599
利息及び配当金の受取額	20,602
利息の支払額	△2,595
法人税等の支払額	△313,906
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,699
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2,518,000
定期預金の払戻による収入	2,518,000
有価証券の取得による支出	△777,025
有価証券の売却による収入	303,039
投資有価証券の取得による支出	△100,000
投資有価証券の売却による収入	811
有形固定資産の取得による支出	△16,919
無形固定資産の取得による支出	△20,464
長期貸付金の回収による収入	1,000
保険積立金の解約による収入	21,303
保険積立金の積立による支出	△6,897
その他	△610
投資活動によるキャッシュ・フロー	△595,762
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	150,000
長期借入金の返済による支出	△15,830
社債の償還による支出	△20,000
配当金の支払額	△74,108
少数株主への配当金の支払額	△1,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	38,661
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△517,401
現金及び現金同等物の期首残高	1,097,211
現金及び現金同等物の四半期末残高	579,809

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月21日 至平成21年1月20日)

	理科学 機器設備 (千円)	保健医科 機器 (千円)	産業用機器 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,753,056	1,307,409	894,171	4,954,638	—	4,954,638
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,753,056	1,307,409	894,171	4,954,638	—	4,954,638
営業利益	170,350	300,228	140,481	611,060	(341,133)	269,926

(注) 1 事業の種類別区分は、商品の主たる用途を考慮して区分しております。

2 各区分の主要な商品

種類別区分	主要品目
理科学機器設備	収納壁、調理台、実験台、顕微鏡、電源装置、滅菌器
保健医科機器	蘇生法教育人体モデル、AED(自動体外式除細動器)、視力・聴力検査器、身長計、体重計
産業用機器	保温・加熱用電気ヒーター、環境試験機器

3 会計処理方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を適用しております。

この変更に伴ない、従来の方法によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益は理科学機器設備が31,940千円、保健医科機器が6,333千円、産業用機器が6,240千円それぞれ減少しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月21日 至平成21年1月20日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月21日 至平成21年1月20日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	513,135	160,246	673,381
II 連結売上高（千円）			4,954,638
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.4	3.2	13.6

(注) 1 地域は地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

アジア…東アジア諸国、東南アジア諸国、西南アジア諸国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」前年同四半期にかかる財務諸表

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月21日 至 平成20年1月20日)
	金額(千円)
I 売上高	5,414,485
II 売上原価	3,308,726
売上総利益	2,105,759
III 販売費及び一般管理費	1,595,095
営業利益	510,664
IV 営業外収益	
1. 受取利息	6,963
2. 有価証券利息	2,000
3. 受取配当金	3,027
4. 不動産賃貸料	33,665
5. その他	4,698
営業外収益合計	50,354
V 営業外費用	
1. 支払利息	4,895
2. 社債利息	672
3. 不動産賃貸費用	16,625
4. その他	2,159
営業外費用合計	24,353
経常利益	536,665
VI 特別利益	
1. 保険金収入	7,148
2. 貸倒引当金戻入益	999
特別利益合計	8,148
VII 特別損失	
固定資産除却損	665
特別損失合計	665
税金等調整前 四半期純利益	544,148
法人税、住民税及び 事業税	154,988
法人税等調整額	76,815
少数株主利益	11,488
四半期純利益	300,855

(2) (要約) 前四半期連結キャッシュフロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月21日 至平成20年1月20日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	544,148
減価償却費	95,206
退職給付引当金の増加額	9,396
役員退職慰労引当金の増加額	20,659
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 155,258
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 999
受取利息及び受取配当金	△ 11,991
支払利息	5,568
有形固定資産除却損	665
売上債権の増減額(△は増加)	388,929
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 209,272
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 200,753
その他	△ 54,848
小計	431,430
利息及び配当金の受取額	10,411
利息の支払額	△ 2,460
法人税等の支払額	△ 359,176
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,205
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△ 2,551,000
定期預金の払戻による収入	1,051,000
有形固定資産の取得による支出	△ 55,549
無形固定資産の取得による支出	△ 7,704
保険金の受取による収入	7,148
保険積立による支出	△ 7,049
長期貸付金の貸付による支出	△ 5,000
その他	614
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,567,540
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△ 39,164
社債の償還による支出	△ 20,000
自己株式の取得による支出	△ 37,547
配当金の支払額	△ 101,637
少数株主への配当金の支払額	△ 1,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 199,748
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の減少額	△ 1,687,083
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,496,982
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	809,898

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月21日 至平成20年1月20日）

	理科学 機器設備 (千円)	保健医科 機器 (千円)	産業用機器 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,837,779	1,629,740	946,964	5,414,485	—	5,414,485
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,837,779	1,629,740	946,964	5,414,485	—	5,414,485
営業利益	334,906	391,403	153,890	880,201	(369,537)	510,664

(注) 1 事業の種類別区分は、商品の主たる用途を考慮して区分しております。

2 各区分の主要な商品

種類別区分	主要品目
理科学機器設備	収納壁、調理台、実験台、顕微鏡、電源装置、滅菌器
保健医科機器	蘇生法教育人体モデル、AED(自動体外式除細動器)、視力・聴力検査器、身長計、体重計
産業用機器	保温・加熱用電気ヒーター、環境試験機器

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月21日 至平成20年1月20日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月21日 至平成20年1月20日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	526,554	175,595	702,149
II 連結売上高（千円）			5,414,485
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	9.7	3.3	13.0